

吉田雄一先生（大分大学医学部内分泌代謝・膠原病・腎臓内科学講座 講師）

第 14 回中塚医学賞（生命科学・医学専門分野） 受賞

「糖尿病網膜症の重症度と自由行動下血圧および血清レニン濃度の抑制との
関連性」

吉田雄一（内分泌・糖尿病内科） 第 14 回中塚医学賞（生命科学・医学専門分野）受賞
「糖尿病網膜症の重症度と自由行動下血圧および血清レニン濃度の抑制との関連性」
この度、第 14 回中塚医学賞を受賞させていただきました。

（主論文）

Associations of Diabetic Retinopathy Severity With High Ambulatory Blood Pressure and
Suppressed Serum Renin Levels.

J Clin Endocrinol Metab. 2023 Nov 17;108(12):e1624-e1632.

論文概要は以下をご覧ください。

https://www.naika1.med.oita-u.ac.jp/hiro-eye/pdf/2023_9_1_sata_yoshida.pdf

（副論文）

Importance of dietary salt restriction for patients with primary aldosteronism during
treatment with mineralocorticoid receptor antagonists: The potential importance of post-
treatment plasma renin levels

Hypertens Res. 2023 Jan;46(1):100-107.

論文概要は以下をご覧ください。

https://www.naika1.med.oita-u.ac.jp/hiro-eye/pdf/2022_11_8_yoshida.pdf

吉田コメント：

上記 2 つの論文はいずれもアルドステロンという血圧に関連したホルモンに関する臨床研究です。これまで原発性アルドステロン症はその診断や治療薬の選択などが話題になることが多かったですが、私たちの研究では、アルドステロンは塩分摂取量の制限や血糖改善といった生活習慣の改善も重要であることを示すことができました。これら研究結果が、患者さんにとってより良い治療に繋がればと考えております。

これまでいくつかの研究を論文発表して参りました。患者さん、研究室配属の学生さんのご協力や、柴田洋孝先生をはじめ医局の先生方のご指導のお陰で研究が行え、このような素晴らしい賞をいただくことができました。ご関係の皆様にご心から感謝申し上げます。誠にあり

がとうございました。

HIRO'S EYE

内分泌糖尿病内科・講師 吉田雄一先生



中塚医学賞受賞、おめでとうございます！ 2つの論文共にアルドステロンおよびミネラルコルチコイド受容体(MR)の臨床研究論文ですが、糖尿病網膜症はMRの過剰活性化が関与していることを示した非常に重要な論文です。我々が提唱している「MR 関連高血圧」は主に基礎研究を基にして提唱してきましたが、今回の糖尿病網膜症が重症になるほど血圧が高くなり、低レニン血症を示すことを実際の症例で示したことは重要な知見です。吉田先生はこの数年は非常に多くの論文を執筆してきており、自分が筆頭著者として関わる研究にとどまらず、内分泌糖尿病グループの若手や医学科学生にもテーマを与えて論文発表にまで必ずつなげる努力は素晴らしいです。内分泌糖尿病内科の副診療科長としてもグループの柱となり、まさに一番脂がのって活躍しており、今回の中塚医学賞受賞を糧にさらに活躍を期待しています。

(柴田洋孝)